社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	砥部町全域
②都道府県名	愛媛県
③計画作成主体	砥部町
④計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 26 年度
⑤計画の目標	『真に住宅に困窮する住民に安定した住環境を確保する』 『既存住宅を長期にわたり使用するための計画を策定する』 『住生活基本計画に基づいた住宅の供給を図る』 『公営住宅の長寿命化を図るための修繕・改善の計画的な推進』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	砥部町において評価を行う。（平成 27 年 5 月）
⑦事後評価の結果	<p>指標 1：「公営住宅収入超過者等の割合」 定 義：砥部町の公営住宅に入居する収入超過者・高額所得者の割合 評価方法：計画期間内の収入超過者・高額所得者の割合を比べる 結 果：従前値：1%（23 年度）⇒目標値：0%（26 年度）⇒<u>実績値：3%</u> 結果の分析：公営住宅の収入超過者等の退去を促してきたが、新たに収入超過者が増え、目標としていた収入超過者及び高額所得者の割合を達成するには至らなかった。</p> <p>指標 2：「公営住宅長寿命化計画の策定」 定 義：既存住宅の有効活用に向けた計画策定割合 評価方法：計画の策定の有無 結 果：従前値：0%（23 年度）⇒目標値：100%（26 年度）⇒<u>実績値：100%</u> 結果の分析：今後 10 年間の計画的かつ効率的な町営住宅ストックの維持管理について、適正管理・早期修繕による長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげていくことを目的として平成 24 年度に町営住宅長寿命化計画を策定した。 これにより更新コストの削減と事業量の平準化を図り、町営住宅の長寿命化を推進する目標を定めることができた。</p> <p>指標 3：「町営住宅長寿命化改善率」 定 義：砥部町公営住宅等長寿命化計画において、外壁改修が必要と判定された住棟のうち、改修工事を行った住棟の割合（建替及び用途廃止を除く） 評価方法：計画の策定の有無 結 果：従前値：0%（23 年度）⇒目標値：12%（26 年度）⇒<u>実績値：0%</u> 結果の分析：計画に基づき、26 年度に川下団地の外壁と屋根の補修工事を行ったが、入居者との調整に日数がかかり、工事完了が平成 27 年 4 月末となり、計画年度内に完了出来なかった。</p>
⑧結果の公表方法	砥部町のホームページにて公表する。
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の入居の応募は依然として 9 倍程度の倍率があることから、今後も収入超過者等の退去を促し、一人でも多くの住宅困窮者に住宅の供給を図ることとしている。 ・砥部町公営住宅等長寿命化計画に基づいて、順次補修工事を行いライフサイクルコストを考慮した公営住宅等の維持管理に努める。
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。